

日本規格協会規格（JSA 規格）

「JSA-S1020 Requirements for instructors responsible for human resource development on the Information Technology」

を開発・発行

2022年9月30日
一般財団法人 日本規格協会

日本規格協会は、JSA-S1020『Requirements for instructors responsible for human resource development on the Information Technology』を2022年9月30日に発行いたしました。

このJSA規格は、株式会社アウトソーシングが主体となって開発したもので、2022年3月1日に発行したJSA-S1020「IT分野の人材開発を担う講師に関する要求事項」の英語版です。IT分野の人材開発を担う講師の質の向上を目的として、講師に関わる用語の定義や業務範囲、求められる能力について明確にし、統一的な要求事項として定めています。このJSA規格は、研修サービス及び講師の品質の明示、講師の育成・採用の基準、講師個人のキャリアプラン策定・スキルアップ等の指針として、日本国内にとどまらず、東南アジアや欧州などでの活用が期待されます。

JSA 規格とは

JSA規格は、一般財団法人日本規格協会（本部：東京都港区、理事長：朝日弘）が発行する民間規格です。2017年6月の制度創設以来、標準化の専門機関である日本規格協会が、様々なステークホルダー（企業、団体、政府機関、学会など）からの多様な規格開発のニーズの相談・提案を受け、提案者の自主的な規格開発の取組みに対し、効率的なプロジェクトマネジメント支援を提供し、透明性・公平性及び客観性を確保したJSA規格を迅速に開発しています。

英語版 JSA-S1020 について

近年のデジタル技術の発展・普及に伴うビジネスの在り方や社会構造の変革、社会生活におけるデジタル技術の活用の加速化等により、IT人材へのニーズはますます高まっており、その養成は日本国内にとどまらず喫緊の課題となっています。しかし、IT人材の養成に関して、その手法等は各養成組織で共有されていませんでした。質の高い人材育成を効率的に行うためには、その中核である講師について、統一された要件を定めることが不可欠です。

そこで、このJSA規格は、IT分野の人材開発を担う講師の質の向上を目的として、講師に関わる用語の定義や業務範囲、求められる能力について明確にし、統一的な要求事項として定めています。

【Terms and definitions】

- ・本規格で用いる主な用語とその定義を記載

【Roles of instructors】

- ・教育・研修・訓練の実施
- ・人材開発デザイン（HRDD : Human Resource Development Design）

【Requirements for instructors】

- ・講師としての振る舞い
- ・教育・研修・訓練の実施に必要な知識・技能・業務遂行能力
- ・継続的専門能力開発（CPD : Continuing Professional Development）
- ・人材開発デザイン（HRDD）に必要な知識・技能・業務遂行能力

この JSA 規格は、研修サービス及び講師の品質の明示、講師の育成・採用の基準、講師個人のキャリアプラン策定・スキルアップ等の指針として活用が期待されます。また、これにより、講師の信頼性の向上、社会的地位の向上、処遇の向上等に資することが期待されます。

JSA-S1020 : 2022 『Requirements for instructors responsible for human resource development on the Information Technology』は、日本規格協会のウェブサイトからご購入いただけます。

JSA 規格の詳細はこちら↓

<https://webdesk.jsa.or.jp/common/W10K0500/index/dev/jsas/>

JSA-S1020 のご購入はこちら↓

https://webdesk.jsa.or.jp/books/W11M0090/index/?bunsyo_id=JSA-S1020%3A2022



お問合せ：一般財団法人日本規格協会 JSA 規格事務局（E-mail : jsastandard@jsa.or.jp）